

研究集会「公的データの利用とプライバシー保護の理論」

日時： 2019年12月12日(木) 10:00~17:20

場所： 統計数理研究所・セミナー室2(東京都立川市緑町10-3)

午前 座長： 佐井至道 (岡山商科大学・経済学部)

10:00~10:40 佐井至道 (岡山商科大学・経済学部)
「局所的な分布を利用した個票データのリスク評価の実用化に向けて」

10:40~11:20 佃康司 (東京大学・大学院総合文化研究科)
「Pitman-Yor 事前過程を用いた場合の事後過程の弱収束について」

11:20~12:00 伊藤伸介 (中央大学・経済学部)
「海外における公的統計マイクロデータと行政記録情報の利活用の現状」

午後1 座長： 佐井至道 (岡山商科大学・経済学部)

13:00~13:40 稲葉由之 (明星大学・経済学部)
「小地域別世帯統計に基づく災害対策指標に関する考察」

13:40~14:20 加藤直子 (社会データ構造化センター)
「社会調査の計量分析：異なる測定法の比較から」

14:20~15:00 廣瀬雅代 (九州大学・マス・フォア・インダストリ研究所)
「エリアレベルモデル下での EBLUP に対する MSPE 推定量」

午後2 座長： 星野伸明 (金沢大学・人間社会研究域経済学経営学系)

15:20~16:00 六信孝則
(株式会社帝国データバンク・データソリューション企画部総合研究所)
「ビッグデータで超スマート自治体を形成し、政策のあり方を見直す」

16:00~16:40 馬場弘樹 (東京大学・空間情報科学研究センター)
「自治体保有データを活用した将来空き家率の推定」

16:40~17:20 菅澤翔之助 (東京大学・空間情報科学研究センター)
「ロバストな統計手法による地域効果の推定法」

主催

科学研究費補助金(基盤研究(B)(一般)) 研究代表者：星野伸明
「ビッグマイクロデータの匿名性評価手法の開発」

統計数理研究所共同利用(重点型研究) 研究代表者：佐井至道
「政府マイクロデータの秘匿方法とリスク評価方法に関する研究」

共催

統計数理研究所共同利用(一般研究2) 研究代表者：佐井至道
「公的大規模データの利用におけるプライバシー保護の理論と応用」

公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム